

# 2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 ひかり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	1	・活動スペースとしては、適切であるがワンフロアのため活動によっては場所を指定するなどの工夫が必要になります。 ・落ち着いた話をする場合には、面談室も活用しています。 (無回答1)
	2	職員の配置数は適切であるか		1	4	指定基準は満たしているが、利用人数・送迎地域によって送迎人員の調整を行っています。 (無回答1)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2		現在在籍しているお子さんに合わせて、環境整備をしています。 (無回答1)
業務 改善	4	業務改善を進めるために、P D C A サイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	3	3		毎朝の朝礼では必ず前日の振り返りを行っています。利用者の支援記録をもとにより良い支援につながるよう話し合いの場を設けています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		毎年、保護者様に対し評価表を配布し事業所の評価をいただいています。その中で、保護者同士の交流をする場がないとのご意見がありましたので今年度は保護者参加の行事を2回ほど取り入れました。
	6	事業所向け自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3		事業所ホームページにて自己評価の集計結果を公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	現在、他機関による第三者評価は実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部で行われている研修に積極的に参加しています。その際、参加する職員に偏りが出ないように調整しています。社内研修も定期的実施しています。
適切 な支 援の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	1		支援計画の評価をする際には必ず面談を行い、ニーズや課題の聞き取りをしています。そのうえで、必要な支援を取り入れていけるように心がけています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2		2	事業所間で統一されたアセスメントシートを使用しています。 (無回答1)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		活動プログラムの原案は2名の指導員が作成、その後レク会議を開催し意見を出し合いながら全体でプログラムを組み立てています。月1回子どもミーティングを行い、その中での内容もできるだけ反映できるようにしています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	2	外部講師を招いている、サッカー・ダンス・ヨガ・音楽・英語に関しては継続することで身につくこともあり毎月行っています。日々の活動に関しましては、新しいものも取り入れつついろいろな活動を提供できるように心がけています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し支援をしているか	3	3	平日は、学校等と連携しその時必要な課題に取り組んでいます。休日、長期休暇には課題の時間を設けることで、1人ひとりに合った課題を設定し提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	4	2	集団活動時の課題と個別課題の両方の視点から、お子さん一人ひとりに何が必要なのかを考え、それに沿った支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	毎朝、打ち合わせを行うなかで、一日の流れ、送迎の確認と周知を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	活動終了後に記入する個別支援記録をもとに、翌日支援の振り返りを行い職員間で共有しています。長期休暇中は時間をとることが難しくできない場合が多いのが今後の課題です。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか	2	3	振り返りの中で支援記録を読み上げ、違う視点で見ていた職員がいればその都度発言し修正していくようにしています。記入の際には、その場にいなかった職員が読んでも状況が伝わるように詳しく書いています。客観的に書くようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	4	現在は、6か月ごとにモニタリングを行い計画の見直しを行っています。必要性があればその都度面談を行い見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	2	3	ガイドラインを読むように職員全員で統一しています。 (無回答1)
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	2	4
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）適切に行っているか	6		必要な場合は送迎時のほかに、学校を訪問したり電話を利用して情報の共有を図っています。状況によっては会議を開催する場合があります。

関係機関 や保護者との 連携関係 機関や保護 者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		2	3	現在、医療的ケアが必要なお子さんの利用はありません。 (無回答1)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解をに努めているか	3	3		電話や、必要に応じて直接話をしながら、就学前の利用機関との情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		学校や相談支援事業所を通して支援内容等の情報共有ができる体制をとっています。 (無回答2)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		専門機関から研修の案内などをいただき積極的に参加しています。 (無回答1)
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	現在実施できていない状況なので、長期休暇などを利用して交流する機会を検討していきます。 (無回答1)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	1	美唄市障がい者自立支援協議会が開催する事業者部会に、管理者が参加しています。 (無回答1)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	6			個別支援計画作成時の面談のみではなく、送迎時にその日のお子さんの様子等をできるだけ詳しく話すことで共通理解がもてるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	1	ペアレントトレーニングといった専門的なものではありませんが、個々の特性を踏まえたうえでの関わり方やヒントになるようなことを面談などの際に話させていただいています。 (無回答1)
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5	1		運営規定、利用負担額等は契約時、重要説明事項に記載されている内容をもとに説明しています。支援内容については、個別支援計画を作成、説明する際に詳しく伝えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		随時、保護者様からの相談に応じています。必要に応じて、当事業所にて取り組める内容であれば、個別支援計画に反映させたり、日々の療育、支援につなげています。 (無回答1)

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	2	現在、父母会・保護者会等の活動は行っていません。保護者様同士の連携には至っていませんが、交流が図れるようなレクリエーションを開催しています。 (無回答1)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか	4	2		苦情処理に関しましては、極力迅速に対応できるよう体制を整えています。苦情対応窓口につきましては重要事項説明書に記載されております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月「ひかりだより」を発行することで、行事の案内や事業所でのお子さんの様子を写真等を用いて発信しています。必要に応じて、連絡事項を別途配布する場合があります。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			事業所見学等で配布する資料はもちろんのこと、関係機関と連携する以外は、知り得た情報を漏らさないことを徹底しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮しているか	4	2		必要に応じて、目で見てわかるように紙に書いたり、電話ではなく直接話をするなど個々に合わせた伝達ができるよう配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	1	3	2	現在は、地域住民を招待するような行事は行っていません。町内会に加入したことで、町内活動に参加できるように検討しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		各マニュアルは策定され、職員間では周知しています。保護者様に対しましては周知できていないのが現状なので、今後周知していけるような体制を検討します。 (無回答1)
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			様々な災害を想定し、月1回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	3	3		虐待防止にかかわる外部研修に参加し、職員間で伝達研修を行うことで職員の研修機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	2	1		現在、身体拘束を行う必要性があるお子さんの利用はありません。必要になった場合には、個別支援計画に記載するほか、ご本人、保護者様に対し説明し同意していただきます。 (無回答3)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4		食物アレルギーがあるお子さんに関しては、保護者様との面談等で確認しています。必要がある場合は、医師の指示書のもと対応していきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2		ヒヤリハットについては、統一した様式に記載し、会議等で検討・共有しています。	